Alyssa Karpowitzの話とは対照的に、意見のすべての変化が公衆衛生のメッセージに賛成したわけではありません。時が経ち、米国中のより多くの人々が予防接種を受けるにつれて、有害な副作用の主張が浮上し始めました。何人かの親は、彼らの子供がGMIワクチンにさらされた家畜に見られるのと同様の神経学的症状を経験していると主張しました。5月までに
2027年、この主張をめぐる親の不安は訴訟の段階まで激化した。その月、コロバックスの予防接種を受けて脳炎の結果として子供が精神遅滞を発症した親のグループが連邦政府を訴え、保護する責任シールドの撤去を要求した
Corovaxの開発と製造を担当する製薬会社。

増加する原告コホートは、National Vaccine Injury Compensation Trust Fund（NVICTF）と、PREP法に基づいて議会によって承認された資金の緊急充当が存在し、Corovaxワクチンによって悪影響を受けた人々に金銭的補償を提供することを知り、すぐに訴訟を取り下げました。医療費およびその他の関連費用をカバーするため。[2,3] 連邦政府の対応に対する肯定的な反応と、ワクチン接種を希望する米国市民の大多数がすでに予防接種を受けているという事実を考えると、副作用を取り巻く否定的な宣伝は、全国のワクチン接種率にほとんど影響を与えませんでした。しかし、有害な副作用に焦点を合わせると、提出される補償請求の数が大幅に増加し、多くの人がCorovaxが健康に及ぼす可能性のある長期的な影響について懸念を抱くようになりました。この懸念は、Corovaxワクチン接種キャンペーンに関する政府の動機に疑問を呈し続けた一部のアフリカ系アメリカ人の親の間で特に高かった。

FDA、CDC、およびその他の機関は、Corovaxと報告された神経学的副作用との関連の可能性を調査するのに忙しかったが、彼らの努力は継続的に損なわれていました。
さまざまな非政府の個人およびグループによって作成された疫学分析。人気の

たとえば、科学ブロガーのEpiGirlは、2027年4月にCorovax副作用の発生率のインタラクティブマップの投稿を開始しました。マップを作成するために、EpiGirlはFacebook、Twitter、YouTubeを使用してCorovaxの有害な副作用の逸話を収集し、HHSからダウンロードしたデータと組み合わせました。ワクチン有害事象報告システム（VAERS）、CDCおよびFDAによって維持されている全国的なワクチン安全監視プログラム。EpiGirlはまた、Apple製品のユーザーである加入者の間で、AppleのResearchKitおよびHealthKitアプリケーションを介して健康データを彼女と共有することを奨励しました。その結果、EpiGirlの地図はソーシャルメディア界で広く共有され、地方や全国のニュースレポートにも含まれていました。

連邦政府は、EpiGirlの事例データの有効性と、インターネットを介した患者情報の広範な共有について懸念を抱くようになりました。EpiGirlのデータは、報告されたほぼすべての副作用の発生率が有意に高いことを示しました。ただし、連邦当局は、これは主に複数のソースからのデータをコンパイルした結果としてエントリが重複していることが原因であると考えていました。さらに、EpiGirlのデータは、報告された副作用の原因に対処することを目的としておらず、発生率のみに対処することを目的としていました。密接に関連するグループであるPatients-Like-Meなどの組織からの同様の結果の公開
自然医学運動により、これらの独立した報告をさらに正当化した。政府
正式なプレスリリースを通じてこれらの主張に応えようとしましたが、これらはEpiGirlの地図ほど視覚的に魅力的でもインタラクティブでもなかったため、ほとんど無視されました。

連邦政府はコロバックスの急性副作用に関する懸念に適切に対処したように見えましたが、ワクチンの長期的で慢性的な影響はまだほとんど知られていませんでした。2027年の終わり近くに、新しい神経学的症状の報告が出始めました。約1年間有害な副作用が見られなかった後、数人のワクチン接種者は、かすみ目、頭痛、四肢のしびれなどの症状をゆっくりと経験し始めました。これらの症例の数が少ないため、Corovaxとの関連の重要性は決定されませんでした。この記事を書いている時点で

2030年、ワクチン接種プログラムの開始時にNIHによって開始された縦断的研究は、次のデータ収集ラウンドに到達していないため、これらの症状に関する正式な分析はまだ実施されていません。さらに、これらの症例は、ワクチン接種者の最初のコホート（他の基礎となる健康状態のある集団を含む高リスク集団の集団）から生じたものであり、これらの症状がワクチン接種に関連する程度を判断することがますます困難になっています。

これらの症例が出現すると、患者はPREP法に基づく補償の申請を開始しました。ワクチン接種と報告された神経学的症状との間の考えられる関連性についての長引く不確実性のために、それらの補償要求は、さらなるデータ分析を待つ間、無期限に保留されました。このコホートは、最初は多くの人がCorovaxワクチンを断固として支持していましたが、すぐにソーシャルメディアにアクセスして問題を公表しました。

神経学的症状の報告は比較的少ないにもかかわらず、ソーシャルメディアの反応は計り知れませんでした。PREP法の補償方針で最初の成功を経験し、請求要求と評価プロセス全体の透明性を確保するために熱心に取り組んだ後、HHSは新しいラウンドの否定的な宣伝に気をとられました。彼らは、これらの主張を裏付けるデータがないにもかかわらず、Corovaxからの長期的な影響を主張する人々に補償を与えるように国民とメディアから圧力をかけられました。科学研究の根本的な誤解を示して、多くはワクチンが長期的な効果を引き起こさなかったという証拠を要求しました。

即時補償の要求に加えて、議会は、PREP法の緊急予算を増やすようにという国民の圧力に直面した。資金の最初の割り当ては急性の副作用の補償を提供するのに十分でしたが、長期的な影響と潜在的に永続的な障害の見通しは、近い将来に追加のリソースが必要になるという懸念を引き起こしました。

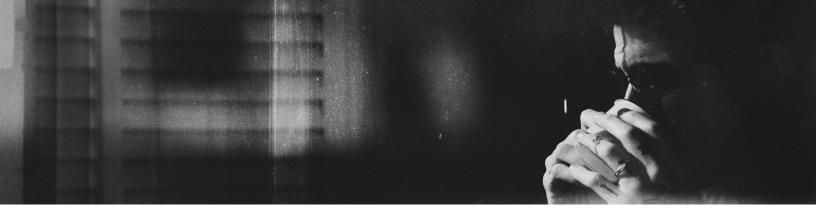
C OMMUNICAT ION D 補題

公開情報との通信
2つのデータソースと
ミストラストのクリメートでの法定回収のためのオプトイオン

F OOD FOR T HOUGHT

1）有害な副作用とNVICTFのトピックに具体的に対処する回復メッセージの開発とテストをどのように進めることが、MCMキャンペーン後に発生する医学的問題に関する公衆の苦痛に対応する保健当局の能力を向上させるのに役立つでしょうか？そのようなテストを正当化するいくつかのメッセージは何ですか？

2）Coravaxと報告された神経学的症状との関連についての不確かな科学にもかかわらず、なぜ保健当局は、ワクチン接種後に医学的問題を経験するワクチン接種集団の人々に対して、思いやりと真の共感をもってコミュニケーションをとる必要があるのでしょうか。

3） オープンデータシステムへの関心の高まりと、複雑な問題を解決するための「クラウドソーシング」の適用を考えると、公衆衛生当局は、SPARSの発生後、関心のある一般市民との双方向通信をどのように活用できるでしょうか。たとえば、一般の人々からのインプットと分析は、有害事象の監視を改善したり、特定のMCMキャンペーンの長所と短所を評価したりするのにどのように役立つでしょうか。

ASPRは、HHSのネーゲル長官の要請に応じて、連邦保健機関の上級指導者の間で一連の会議を開催し、SPARSパンデミックへの対応の部門別レビューの結果として実施されているポリシーとプログラムの変更に対処しました。検討された問題の中には、コロバックスに関する否定的な世論の高まりと、SPARSに対する公衆衛生の対応の犠牲者に対する政府の認識された無関心の影響がありました。ある上級保健当局者は、ワクチン接種者のための時間と強力な医療モニタリングプログラム（その構成要素はすでに実施されている）は、長期的な影響に関する国民の懸念を判断するのに十分であるはずだと主張した。

実際、次のように保証されていました。「データを待つ必要があります。人々はその事実を理解する必要があります。」

これらの会議の著名な出席者の1人は、薬物乱用・精神保健サービス局（SAMHSA）のディレクターであるアンフリン博士でした。行政の災害技術支援センターのスタッフは最近、過去1年間のSAMHSA災害苦痛ヘルプラインの使用状況データについてフリン博士に説明しました。要約レポートによると、かなりの数のヘルプラインユーザーが主な懸念はSPARSの大流行に関連していると述べています。そして、最近では、Corovaxの潜在的な長期的影響についての不確実性。この新しい知識を考慮して、フリン博士は、科学が明らかになるまで国民は単に待つ必要があるという以前の主張に反論しました。スリム、

出席した上級指導者は、フリン博士からの多くの促しの後、パンデミックが引き起こした集合的な脆弱性の感覚や、深刻な危険の脅威の下で国民が示した強さを公に認めた政治的または公衆衛生のトップはいないと結論付けました。
さらに、国民の幅広い意欲を公に認めた国家指導者はいなかった。

パンデミックを終わらせることを約束したが、その長期的な結果は当時完全には理解されていなかった処
方された対抗策。

会議の後、ASPRは、SAMHSAが利害関係者と協力し、国民の対処スキルを強化し、悲しみに暮れる個人を支援し、前向きな方向性を奨励し、会議を行う方法について、州、部族、および地域の行動健康ガイダンスを考案することをHHS長官ネーゲルに推奨しました。他のSPARS回復の必要性。さらに、ネーゲル長官は、将来の公の場でのSPARSの感情的な犠牲を認める可能性について、アーチャー大統領に相談することが推奨された。主要なメッセージは、パンデミックの間、強いままでいることに対するアメリカの人々への感謝の1つでしょう。別の重要なメッセージは、かなりの不確実性に直面してパンデミックの終焉を早めるために、予防接種を含む公衆衛生の勧告を順守したことへの感謝を伝えるでしょう。

アーチャー大統領は、SPARSに直面した国の決意と回復に取り組むことに合意した。CDC、FDA、NIH、SAM
HSAのトップリスクコミュニケーションアドバイザーがグループとしてどのように協議したか
大統領の発言を組み立てるのが最善です。グループは、それが適切かどうかについて活発に議論しました
大統領は、ワクチン接種者が地域社会のために行った犠牲を認めるか、その犠牲に対する悲しみの
中で彼らを慰める。

C OMMUNICAT ION D 補題

解決感をCrisis Wh ileの期間に持ち込む
必要性と確固たる関係のバランスをとる
収集されたGriefとLossおよび前進する必要性

F OOD FOR T HOUGHT

1）Corovaxワクチンの長期的な安全性プロファイルが不確実であることを考えると、ワクチン接種と有害事象との相関関係についてコミュニケーションをとる際に、科学と共感の両方が必要なのはなぜですか？

2）MCMが関与する公衆衛生上の緊急事態の回復段階に関して、アン・フリン博士のアドバイスはどのような一般的なコミュニケーションの原則を示唆していますか？彼女のガイダンスに基づくと、回復段階のコミュニケーションのイベント前の計画はどのように見えるでしょうか？

C ハプター N INETEEN

セントポール急性呼吸器症候群コロナウイルスが世界的にデビューしてから約5年が経過した現在、ヨーロッパ、アフリカ、アジアの14か国でヒトの症例が残っています。パンデミックは2028年8月に正式に終了しましたが、ウイルスは飼いならされた動物の貯水池に残っています。WHOの専門家は、2025年に世界規模で病気が発生するずっと前にSPARSの小規模で孤立した発生が発生していたと仮定し、各国が広範囲のワクチン接種範囲を維持しない限り、将来の発生が発生し続けると予測しています。

パンデミックが次第に減少するにつれ、影響力のある数人の政治家や政府機関の代表者が攻撃を受けました。
認識された政治的利益のためにイベントの重大さをセンセーショナルにしたことに対して。多くの公衆衛生介入と同様に、パンデミックの影響を減らすための成功した努力は、イベントが専門家が示唆したほど深刻ではないという幻想を生み出しました。共和党のアーチャー大統領の批判者たちは、パンデミックに対する大統領とその政権の対応を公に軽蔑する機会をとらえ、有権者に「アメリカ国民の最善の利益を心に留めた強力な指導者」を選出するよう促した。主に影響を受けた子供たちの率直な親が主導する広範なソーシャルメディア運動は、「大手製薬会社」への広範な不信と相まって、SPARS MCMの開発は不要であり、少数の利益追求者によって推進されたという物語を支持しました。陰謀説もソーシャルメディア全体に広まりました。

パンデミック後の事後報告、政府の公聴会、および政府機関のレビューは数が多すぎて数えられませんでした。病気と戦うために議会によって割り当てられた緊急資金は、パンデミックの過程の途中で利用可能になりましたが、連邦、州、および地方の公衆衛生機関
それを使うための手続き上の要件を管理するのに苦労しました。その結果、かなりの量の

パンデミックが収まったため、緊急資金は未使用のままでした。調査が激化するにつれ、CDCとFDAの高官数名は、「家族とより多くの時間を過ごす」ために辞任し、政府から撤退することを余儀なくされました。これらの機関の疲れ果てた従業員は、パンデミックの間、週に6〜7日長時間働いていましたが、単に対応全体を後回しにしたかっただけです。過去数年間の出来事を再ハッシュするための対応中に、意思決定者または塹壕で奉仕した人々の側にはほとんど欲求が残っていませんでした。

将来のSPARSパンデミックの非常に現実的な可能性は、ワクチン接種プログラムへの継続的な取り組みと、世界中の公衆衛生機関からの正確で文化的に適切でタイムリーなコミュニケーションを必要とします。2025-2028のSPARSパンデミックのコミュニケーション経験は、このコミュニケーションがどのように発生するか、また発生するかについてのいくつかの例を提供しますが、将来の公衆衛生上の緊急事態への対応のために回避または少なくとも修正する必要がある慣行も特定します。

C OMMUNICAT ION D 補題

I ns ti tut ional iz ing Communications Les sons from the 2025-2028SPARSパンデミック

F OOD FOR T HOUGHT

保健当局が、保健緊急時のMCMの使用から学んだこと（対応の失敗や成功を含む）を公に共有し、その情報に基づいて政府機関がどのように進化する予定であるかを伝えると、どのようなメリットが生じる可能性がありますか？

REFERENCES & A 付録

R 参照

1）Ogilvy J、SchwartzP。シナリオのプロット。カリフォルニア州エメリービル。2004年：http：//www.meadowlark.co/plotting_your_scenarios.pdf。2015年4月13日にアクセス。

2）公的準備および緊急事態への備えに関する法律。で：保健社会福祉省、ed。ワシントンDC。2005年。

3）保健資源事業局。全国ワクチン被害補償プログラム。http://www.hrsa.gov/vaccinecompensation/index.html。2015年4月6日にアクセス。

A クロニムス

以下は、シナリオ全体で使用される頭字語のアルファベット順のリストです。

ACIP： 予防接種実施諮問委員会

ASPR： 準備と対応のための次官補のオフィス

CDC： 疾病管理予防センター

EHR： 電子健康記録

EUA： 緊急使用許可

FDA： 食品医薬品局

HHS： 保健社会福祉省

IAT： インターネットアクセス技術

MERS： 中東呼吸器症候群

MCM： 医療対策

NAIHS： ナバホエリアインディアンヘルスサービス

NIH（アメリカ国立衛生研究所： 国立衛生研究所

NVICTF： 全国ワクチン被害補償信託基金

POD： 調剤のポイント

物理的： 国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態

RCT： ランダム化比較試験

SARS： 重症急性呼吸器症候群

SAMHSA： 薬物乱用および精神保健サービス管理

SLEP： 棚寿命延長プログラム

スパー： セントポール急性呼吸器症候群

SNS： 戦略的国家備蓄

VAERS： ワクチン有害事象報告システム

WHO： 世界保健機構

R 応答 S CENARIO T IMELINE

2025年

10月

最初の米国での死亡はSPARSが原因で発生しました。当初、これらの死は

11月

SPARSの症例は、ミネソタ州全体と他の6つの州で報告されました。

感謝祭の休暇旅行とブラックフライデーの買い物は、中西部を越えてSPARSの普及を促進しました（12月中旬までに26の州と他の複数の国）。

WHOは、SPARSのパンデミックが国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態であると宣言しました。

12月

SPARSの治療法やワクチンは存在しませんでしたが、抗ウイルス剤のカロシビルが治療薬として有効である可能性があるという証拠がいくつかありました。

多国籍家畜によって開発および製造された独自のワクチン
コングロマリット（GMI）は、ヒトワクチンの潜在的な基盤として提案されました。ザ・
ワクチンは、東南アジアのひづめのある哺乳類集団における同様の呼吸器コロナウイルスの発生と戦うために開発されましたが、ワクチンは規制当局によって認可されておらず、ヒトでテストされていませんでした。可能性について懸念がありました

2026年

1月

米国政府は、GMI動物ワクチンに基づくヒトSPARSワクチンの開発と製造をCynBioと契約しました。

HHS長官は、ワクチンの製造業者と提供者に責任保護を提供するために、公的準備および緊急時対応法（PREP法）を発動しました。議会は、ワクチンによる潜在的な有害な副作用の補償を提供するために、PREP法に基づいて緊急資金を承認および充当しました。

重度のSPARS感染症の患者の治療におけるカロシビルの限られた成功の報告に続いて、FDAは抗ウイルス剤の緊急使用許可（EUA）を発行しました。カロシビルはSARSおよびMERSの治療薬として評価されており、SNSでは数百万回の投与が維持されていました。

需要を満たすために生産能力が確立されている間に必要です。

R 応答 S CENARIO T IMELINE

2026年

1月 FDA、CDC、およびNIHは、カロシビルの安全性と有効性に関して、一見相反するコミュニケーションを提供しました。

米国では、SPARSをめぐる国民の不安により、カロシビルが広範に使用され、SPARSの症状が頻繁に自己申告され、医療需要が急増しました。

1月下旬までに、SPARSは42か国とすべての米国の州で検出されました。

2月 FDAやその他の政府とのコミュニケーションにおける文化的能力の欠如は、米国のさまざまな民族グループの間で明らかになりました。

カロシビルを服用した後の3歳の嘔吐と失神のビデオは、ソーシャルメディアを介して広く急速に広まり、EUAへの反対を強めました。

行進 FDAは、カロシビルの有効性と副作用に関する最新情報を発表しました。ソーシャルKalocivirに関するメディアの報道は、公式リリースよりも遍在していました。

英国医薬品医療製品規制庁と欧州医薬品庁は、英国および欧州連合全体での新しい抗ウイルス薬VMaxの緊急使用を共同で承認しました。一部のアメリカ人は、オンラインまたはヨーロッパへの旅行によってVMaxにアクセスしようとしました。

4月 CDCは、米国における最新の（そして大幅に低い）致死率を公表しました。リスクが低いという認識が公益の低下を引き起こしました。

五月 CynBioが製造したSPARSワクチンであるCorovaxの製造は順調に進んでいました。

連邦政府機関は、さまざまな結果を伴う有名な公人を使用してコミュニケーションキャンペーンを開始しました。世論調査では、全国でSPARSとKalocivirの知識が15〜23%増加したことが示されました。ヒップホップのアイコンであるBZeeは、オンラインビデオクリップを使用して公衆衛生メッセージを宣伝することに成功しましたが、Corovax試験のボランティアとTuskegee梅毒研究の「ボランティア」を比較したところ、信頼を失いました。同様に、ベネット前大統領は、彼女が彼女の新しい孫のためにカロシビルを望むかどうか尋ねられたとき、非コミットメントの応答を提供しました。

R 応答 S CENARIO T IMELINE

2026年

五月

公衆衛生機関は、比較的新しいソーシャルメディアプラットフォームであるUNEQLが、大学生の人々の主要なコミュニケーション手段として使用されていることを発見しました。

六月

Corovaxは迅速なレビューの最終段階に入り、生産能力が向上しました。7月までに1,000万回分が利用可能になると予想され、8月にはさらに5,000万回分が利用可能になると予想されていました。

CDC予防接種実施諮問委員会（ACIP）は、ワクチン優先グループを発表しました。医療提供者は優先事項として含まれず、全国の医師や看護師による抗議を扇動した。

限られたCorovax供給の配布を優先するために、連邦政府は、州が患者の電子健康記録（EHR）の要約情報を報告して、リスクの高い集団の個人数を推定することを要求しました。この努力は、連邦政府のアクセスに抗議した国民からの抵抗に見舞われた。

彼らの個人的な医療情報。

7月

全国的な予防接種プログラムを開始する1週間前に、太平洋岸北西部の電力網が損傷した結果、2週間続く広範囲にわたる停電が発生しました。州および地方の公衆衛生機関は、電子メディアがない場合に予防接種プログラムを促進するために、ポスターとチラシを使用したコミュニケーションプログラムを開始しました。

全国のソーシャルメディアの取り組みがワクチン接種キャンペーンを促進し、クラウドソーシングされたデータがワクチンの配布効率を高めるのに役立ちました。

8月

Corovaxワクチン接種プログラムは、代替医療の支持者、イスラム教徒、アフリカ系アメリカ人、およびワクチン接種反対活動家など、いくつかのグループからの抵抗に直面しました。当初は独立して運営されていましたが、これらのグループはソーシャルメディアを介して結束し、影響力を高めました。

9月

日本は、独自のワクチンの開発と製造を支持して、日本でのコロバックスの使用を承認しないと発表しました。

10月

主に東海岸と西海岸にいる大学生は、Corovaxの世界的な利用可能性の不平等に抗議しました。これらの学生の予防接種率は、国内の他の地域の大学生の平均を下回っていました。

R 応答 S CENARIO T IMELINE

2026年

11月

米国での2015年のはしかの発生をきっかけに形成された反ワクチン運動は、反ワクチン接種スーパーグループと戦うための彼らの努力を再燃させました。FDA、CDC、およびその他の連邦機関も、Corovaxキャンペーンを促進するためのコミュニケーションの取り組みを倍加しました。

SPARS後の肺炎の症例数の増加が全国で報告されました。

12月

全国的な予防接種プログラムは、当初の優先人口を超えて、国の残りの部分を含むように拡大されました。

連邦政府機関は、対象を絞ったオンライン広告を含むワクチン接種コミュニケーションプログラムを開始しました。

2027年

2月

SPARS後の肺炎の症例は、全国の抗生物質の在庫を強調しました。HHS事務局長は、全国の抗生物質供給を補うために、SNSからの最も古いロットの抗生物質の配布を承認しました。

SNSインベントリの抗生物質のテストでは、最も古いロットの残りの抗生物質の94%が十分な効力を維持していることが判明しました。2026年8月に実施されたテストは、これらのロットの有効期限を2027年から2029年に延長するための基礎を提供しました。

行進

政府が期限切れの抗生物質を調剤しているという噂が伝統的なソーシャルメディアを介して広まった。

自然医学運動のリーダーであるAlyssaKarpowitzは、自然療法で息子の細菌性肺炎を解決できなかったため、救急科で医療を求めました。SNS供給からの適切な抗生物質による治療が成功した後、彼女はソーシャルメディア界で「期限切れの」抗生物質の利点を宣伝しました。

C OMMUNICATION D ILEMMAS

R 応答 S CENARIO

1）危機がまだ進展していて、重要な健康情報が不完全であるときに、国民の信頼と自己効力感を生み出す （（**4ページ）**

2）情報が不完全または専有的である場合でも、開発パイプラインで潜在的なMCMに関する情報を共有するという公的および政治的圧力に対応する （（**ページ8）**

3）新たな脅威が発生した場合に、安全で効果的なワクチンのタイムリーな開発を確保するための政府プロセスへの信頼を維持する （（**11ページ）**

4）保健機関間で一貫性のないメッセージングを調和させる （（**14ページ）**

5）特定の懸念や文化に対処するために公衆衛生メッセージを適切に調整する

コミュニティ （（**14ページ）**

6）苦しんでいる子供のグラフィック画像の力への対応：人口レベルの問題に引き上げられた1つの物語 （（**19ページ）**

7）米国では入手できない代替抗ウイルス薬の需要への対応

（23ページ）

8）著名な公人によって生成されたMCMに関する誤った情報や疑いへの対応

（25ページ）

9）特定のグループが使用するコミュニケーションプラットフォームを見落としている。新しいメディアプラットフォームを使用して、流暢に話せるようになり、一般の人々を効果的に関与させる （（**29ページ）**

10）KalocivirのようなMCMへの潜在的な不平等なアクセスについての一般の批判への対応 （（**29ページ）**

C OMMUNICATION D ILEMMAS

R 応答 S CENARIO

11）MCMの安全性と有効性に関する立場を変えた後、国民の支持を維持する （（31ページ）

12）希少な資源の優先順位付けの必要性と背後にある理由を伝える （（34ページ）

13）MCMプログラムと可用性を公表して、取り込みと効率的な配布を促進する
（37ページ）

14）MCMの供給を公共の需要に合わせるために、ワクチンの入手可能性に関するリアルタイムのデータを提供する
（37ページ）

15）電子メディアと非電子メディア間で一貫したメッセージングを維持し、
電子メディアが利用できない場合の二次通信計画 （（ページ40）

16）複数の独立したMCMの懸念に同時に対処する （（ページ43）

17）多様な文化的、社会的、人口統計学的背景から来ており、保健当局にさまざまな程度の信頼を置いている
可能性のある市民の情報ニーズを満たす （（ページ43）

18）外国の規制当局からの反対に直面して現在のMCM製品をサポートする
（49ページ）

19）米国政府の制御が及ばない複雑な倫理問題への対応
（52ページ）

20）貯蔵寿命を延ばした薬の安全性と有効性に関する質問への回答
（55ページ）

RECOVERY SCENARIO TIMELINE

2027年

4月

Corovaxの副作用に関するクラウドソーシングによる独立した疫学分析は、公式の連邦報告と矛盾していました。独立した分析は、視覚的なプレゼンテーションとインタラクティブなコンテンツにより、従来のメディアやソーシャルメディアで人気を博しました。政府はデータとプレスリリースで対応しようと試みましたが、ほとんど失敗しました。

五月

Corovaxの副作用の報告が勢いを増し始めました。予防接種を受けた後に神経学的症状を経験した子供の両親の何人かは、連邦政府とCynBioを訴えました。PREP法および全国ワクチン被害補償信託基金を通じて利用可能な補償基金を知ったとき、訴訟は取り下げられました。

11月

Corovaxワクチンの長期的な副作用に関する最初の報告が出ました。これらの報告は、主に初期優先（高リスク）集団の報告から生じたものであり、数は少なかった。利用可能なデータがほとんどなく、既存の条件が多数あるため、初期の研究では、長期的な統計的に有意な関連を特定できませんでした。
効果。補償の請求は、さらなるデータが可能になるまで無期限に保留されました
収集され、分析が完了します。

長期的な副作用補償に対する国民の要求に応えて、HHS長官は議会に、不適切の懸念を軽減するために連邦補償プロセスの独立した調査を実施するよう要請した。

国民とメディアは議会に、PREP法の下で補償のために認可された資金を増やすよう圧力をかけた。

2028年

8月

SPARSのパンデミックは公式に終わったと宣言されました。しかし、専門家は家畜の貯水池と将来の発生の可能性について引き続き懸念を抱いています。

C OMMUNICATION D ILEMMAS

R ECOVERY S CENARIO

1）信頼できるデータのソースと、不信感のある環境での法的手段の選択肢について一般の人々とコミュニケーションをとる （（ページ59）

2）集団的な悲しみ/喪失を肯定する必要性と前進する必要性との間のバランスを取りながら、危機の時期に解決感をもたらす （（ページ63）

3）2025-2028SPARSパンデミックからのコミュニケーションの教訓を制度化する （（ページ66）

JOHNS HOPKINS CENTER FOR HEALTH SECURITY

621 EAST Pラット STREET

SUITE 210

BALTIMORE、 MD 21202

TEL：443.573-3304

FAX：443.573.3305

www.centerforhealthsecurity.org